

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成22年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県緑化センター	所管課	森林環境部みどり自然課
所在地	山梨県甲斐市篠原7-1	設置年月日 (改築年月日等)	昭和49年4月 (昭和59年4月事務所新築移転)
管理方式	指定管理者(山梨県造園建設業協同組合、平成21年4月1日～平成26年3月31日)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県緑化センター設置及び管理条例		
設置目的	県民の緑に対するニーズに対応した「身近な緑づくりの拠点」と「緑の環境教育の拠点」の機能を併せ持ち、本県の緑化推進の中心的役割を果たす中で、広く県民に開かれた施設として、緑に親しみ、学べる場を提供し、緑化に対する普及啓発、県民意識の高揚等に寄与すること。		
主な施設内容 (定員等)	①事務所棟(事務室、研修室他) ②駐車施設他 ③樹木見本園 ④実習園 ⑤小庭園見本		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 施設及び設備器具の維持保全業務</li> <li>● 緑化に関する知識の提供のための樹木の展示及び養成に関する業務</li> <li>● 緑化に関する研修並びに緑化に関する技術の助言及び指導に関する業務</li> <li>● その他知事が必要と認める業務</li> </ul>		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	なし
-------------------	----

3. 利用状況

単位:人、%

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度 (目標値)
来園者数	個人来園者	17,893	18,522	17,831	
	団体来園者	229	426	415	
	主催事業来園者数	2,302	2,320	2,566	
	自主事業来園者数	14,182	13,540	14,233	
	来園者数合計	34,606	34,808	35,045	
	目標値	22,000	34,400	35,200	36,000
	目標値設定の考え方	平成16年度実績(19,091人)を基準に、平成18年度目標を20,000人とし以降20年度まで毎年5%増を目標とした。 平成19年度実績(33,801人)から平成21年度目標を34,400人とし、以降25年度まで毎年2%程度の増加を目標とした。			
対20年度比	100.0%	100.6%	101.3%	104.0%	
利用者数※	個人利用者	17,893	18,522	17,831	
	団体利用者	229	426	415	
	主催事業利用者数	3,455	3,665	3,491	
	自主事業利用者数	14,212	13,639	14,278	
	利用者数合計	35,789	36,252	36,015	

※「利用者数」には、施設外における出前講座、出張研修会等の参加者数(施設外利用者数)を含む。  
なお、施設外利用者数については、別紙2を参照。

## 4. 収支状況

単位:円、%

		平成21年度	平成22年度 (計画値)	平成22年度 (実績値)	平成23年度 (計画値)
収入	施設利用料	0	0	0	0
	指定管理者委託料	48,054,000	48,054,000	48,054,000	48,054,000
	その他			0	
	収入合計(A)	48,054,000	48,054,000	48,054,000	48,054,000
支出	人件費	25,580,033	25,189,000	25,643,412	25,700,000
	県への納付金			0	
	管理運営費	21,337,760	22,865,000	22,049,694	22,354,000
	(うち外部委託費)(B)	(9,757,650)	(9,292,000)	(9,208,500)	(8,200,000)
	支出合計(C)	46,917,793	48,054,000	47,693,106	48,054,000
収支差額(A-C)		1,136,207	0	360,894	0
外部委託比率(B÷C)		20.8%	19.3%	19.3%	17.1%
利用者一人当りの経費		1,381	1,365	1,371	1,335

## 5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成22年4月～平成23年3月 実施方法:来園者へのアンケート 回答者数:①一般635人 ②緑の教室672人 ③緑サポーター11人 ④自主事業659人 全体1,977人
-------	--

単位:%

調査項目	大変満足	満足	まあまあ	不満足
①一般来園者	24.0%	66.0%	10.0%	0.0%
②緑の教室	57.9%	36.9%	4.8%	0.4%
③緑サポーター養成研修	45.4%	36.4%	18.2%	0.0%
④自主事業	41.0%	50.2%	8.6%	0.2%
全体(総サンプル数から算出)	41.2%	50.6%	8.0%	0.2%

※調査項目は、施設ごとに適宜変更する。

利用者の意見	「緑の教室はとても参考になり、役に立ちました。今後も積極的に参加したい。」「緑化センターの存在そのものを知りませんでした。植木の手入れを自分達の手でと考えているので今後とも宜しくお願いします。」「これからは時々伺って参考にしたいと思います。今年庭づくりです。」 改善要望:屋外トイレに関して「古すぎる。」「新しくして欲しい。」「洋式にして欲しい。」等数々の意見が寄せられた。
利用者の意見への対応	アンケートの中で改善要望として多かった「トイレ」の改修についてはアンケート結果をもとに県に依頼し、平成23年3月に改修工事が終了した。 今後もアンケートにより県民の皆様の意見を敏感に捉え対応し、みどりの拠点としての緑化センターを価値ある施設にしていきたいと思ひます。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	県民の快適な利用に供するため、「山梨県緑化センター管理業務仕様書」に基づき、施設の点検・清掃や、実習や見本園として活用する園地等を良好な状態に保つための維持管理業務、安全点検など、適正な管理を行った。	業務仕様書、業務計画書どおり適正に実施されている。
運営業務	幼稚園、小学校、各種団体からの要請に基づき実施した研修会の来園者数が前年比54%増(375人増)となった。今後も緑に関する知識習得や技術向上を目的とする研修会を多く開催し利用促進を図っていきたい。また、樹木医による県民からの緑化相談、公共施設の古木等の出張診断を行うなど、一般性・専門性、両面の機能を発揮している。	計画どおり適正に実施されている。 今後も創意工夫を凝らし、利用者の増加やサービス向上のために努力されたい。
自主事業	春の「やまなしグリーンフェア」、秋の「緑の感謝祭」を2大イベントとし、盆栽・山野草・ウチョウラン・洋ランの展示会を開催した。その他、写真コンテスト・寄せ植えコンテスト・ガーデニングを学ぶ会(バラ・ハーブ・宿根草の3講座)を開催し、多くの来園者を得た。また、イベント毎に緑化相談コーナーを設け、緑化の推進・啓蒙に寄与していると評価している。	集客増のための創意工夫を織り込みながら、計画どおり適正に実施されている。 今後も指定管理者制度の特色を出せるよう、県民により親しまれる企画を期待する。
利用状況	指定管理者となった平成18年以降、毎年来園者増加の傾向が続いている。自主事業の開催で、リピーターの来園者も増加していることや、マスコミやHPの利活用により、来園者及び来園者以外の利用者が増加していると評価している。また、富士東部地域等で各種出張講座を開催するなど、新たな需要の掘り起こしに努めている。	さらなる来園者の増加が図られるよう、新たな企画への挑戦、PR活動に努めること。
収支状況	緑化のプロ集団である造園組合員の参画により効率的な維持管理・運営業務及び自主事業等が実施できた。	さらに経費削減に努め、企画内容の充実を望む。
利用者満足度	全体的な満足度(大変満足+満足)91.8%と高い評価を得ていることは、職員の励みとなっている。反面、満足でない方の意見を十分参考にし、改善を図っていくことが必要と考える。	高い満足度の中にも課題を見い出し、県民のための施設として魅力を高めるとともに、県民ニーズの把握に努め、管理運営に反映させること。
運営目標の達成状況	22年度の来園者数の目標35,200人に対し、実績が35,045人で達成率99.6%とほぼ目標を達成している。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	施設管理・運営業務・自主事業等について、条例、協定及び提案等に基づき概ね適正に履行した。また、アンケート調査結果を分析し、利用者ニーズの把握に努め、緑の教室などの参加率及び利用者満足度の向上に努めた。今年度は小中学校等に緑化センターをPRし、利活用を促進するなど、さらなる来園者の増加、県民への浸透に取り組むこと。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	緑の教室等については、アンケート調査結果の分析を行い、参加率及び満足度向上のため、内容を一部変更するなど、課題に対応している。	

7. 管理体制(組織図)

